

**消費者向け
不安解消に資する取組事例集**

消費者のキャッシュレスに対する不安要素と解消ポイント

不安要素		解消ポイント	事例
認知度	キャッシュレスツールの存在を知らない 使いこなせる気がしない	認知/サポート ・キャッシュレスツールの種類 ・銀行サービスアプリやFinTechサービス	キャッシュレス体験会や金融教育・啓発活動の実施
使いすぎの心配	物理的に使った分が見えないので使いすぎが心配	管理・見える化	アプリで購買履歴を一元管理できるサービス
	後から請求が来るのが怖い	支払金額・時期の管理	支払管理が簡単にできるサービス 前払いや即時払いのサービス
データ流用・流出の不安	お金の流れがデータ化され、流用されるのが怖い	個人情報と紐づかないキャッシュレスツール	無記名の電子マネー
	決済事業者のアプリに銀行口座を紐づけるのがセキュリティ面で不安 口座残高を決済事業者に提供するのに抵抗がある	銀行自体が提供するサービスによる安心感	銀行が提供するコード決済サービス

【認知度の低さ】に関する取組事例

不安の声

キャッシュレスツールの存在を知らない

使い方が分からない、使いこなせる気がしない

キャッシュレス推進に向けた啓発活動

そもそも、どのようなキャッシュレス手段があるか知らない、複数種類があって分かりづらいという意見もあります。

より多くの人に知ってもらうために、パンフレットや動画、キャッシュレスに関する用語集を作成しました。

～パンフレット（経済産業省監修）～



～動画～



～用語集～



解消ポイント

認知度向上 キャッシュレスを体験する機会の提供

イベント・体験会の実施

存在は知っていても使い方が分からないという不安を抱え、使うのをためらってしまう人もいます。

最初の一步をサポートする様々なイベントや体験会が実施されています。

～イベントでの支払い体験～

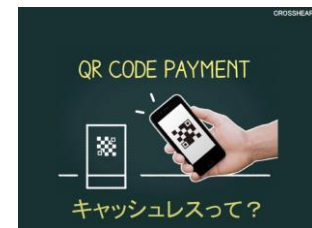
自治体や観光協会で開催する季節のイベントなどでキャッシュレスツールで支払いできるイベントもあります。係の人が使い方を教えてくれる場合もあるので、安心して使うことができます。



札幌市観光協会主催 ムンヘンクリスマス市

～キャッシュレス講座、体験会の実施～

簡単な使い方の説明や、ランチや買い物を、キャッシュレスで支払ってみる体験ができるセミナー等が開催されている。



【使いすぎ】に関する不安解消事例①

不安の声

使った金額が物理的に見えない

把握しづらいので使いすぎが心配

解消ポイント

複数のカードや電子マネーが
スマホで簡単に管理できるサービス



CRECO アイ・ティ・リアライズ株式会社

「いつ」「どこで」「どのキャッシュレス手段で」「いくら」使ったかカレンダー形式で一目で確認できる



Money Forward

MoneyForward (マネーフォワード)

散らばった複数の口座の残高を一括管理できる

クレジットカードなどのキャッシュレスツールは、利用明細が郵送されてきたり、WEBサイトで確認したりすることはできますが、各ツール毎に確認するのは面倒。

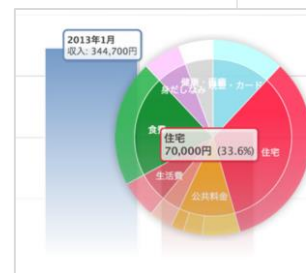
それによって頻繁に確認しなくなり、「把握がしづらく」なっています。

スマホのアプリで簡単に自分の持っている銀行口座やのカードや電子マネーがすべて管理ができれば、自分がどれだけ使ったか把握しやすくなり、**見えるお金**の中で利用ができるようになります。

CRECOは、さらにカレンダー形式の画面で見ることができ、月々どのくらい使ったかが分かりやすく、Moneyforwardは入出金を自動で分類し、家計簿を自動作成することができます。



出典：CRECOサービス
公式ホームページ



出典：Moneyforward公式ホームページ

【使いすぎ】に関する不安解消事例②-1

不安の声



後から請求が来る
クレジットカードは苦手

まとめて請求が来るので怖い

解消ポイント

前払い・即時払いのサービスの活用



前払い式のカード型電子マネー（プリペイド）やデビットカード
限られた残高の中で利用ができるため、使いすぎの心配がない

クレジットカードは使いすぎが心配という声や、まとめて請求が来ることに対する不安がある人もいます。

銀行口座から即時に引き落とせるデビットカードや、前もって現金をチャージ（入金）しておく前払い式電子マネーやプリペイドカードであれば限られた残高の中で利用ができるため、使いすぎの心配がありません。

ビザやマスターカード、JCBなどの国際ブランドのマークがついている、ブランドデビットカード・ブランドプリペイドカードは、概ね各国のクレジットカードが使えるお店で利用することができるため、旅行や出張時に便利です。

主な前払い・即時払い式の支払い手段

前払い

電子マネー
Suica
nanaco
WAON
楽天Edy など

即時払い

銀行が発行する
キャッシュカード
で使える「デビ
ットカード」



国際ブランドが提供するツール

ブランド
プリペイド
カード



ブランド
デビットカード

【使いすぎ】に関する不安解消事例②-2

不安の声



後から請求が来る
クレジットカードは苦手

まとめて請求が来るので怖い

解消ポイント

引き落としタイミングを選べるサービス

SLIDE 株式会社インフキュリオン デジタル



ずらせる支払い管理サービス

銀行のスマホ決済サービスと連携した、新たな支払サービス

クレジットカードは使いすぎが心配という声や、まとめて請求が来ることに対する不安がある人でも、即時に引き落とせるデビットカードや前もってチャージしておくプリペイドカードであれば安心して使えます。

しかし、給与の支払いのタイミングも人によって様々で、銀行の残高が気にある場合は、即時引き落としだけでなく、1週間単位で最大4週間後までずらすことができます。

支払いの時期が自由に選べると同時に、支払い管理ができるので、安心して使うことができます。

※2019年度中にサービス提供開始予定



出典：SLIDEサービス 公式ホームページ

【プライバシー保護】に関する不安解消事例

不安の声

自分が使ったお金の流れがデータ化され、
流用されるのが怖い

解消ポイント

個人情報に紐づかない支払い方法



無記名のカード型電子マネー（プリペイド）

無記名であれば自分の情報が購買履歴と紐づかないため、流用される心配が少ない

様々なキャッシュレスツールは利用する際に、個人情報を登録したり、銀行口座やクレジットカードと紐づけたりします。そのため、データが流出してしまうのではないかと不安があるという人もいます。

一方で、カードにお金をチャージして使う、前払い式の電子マネーにはカードに名前を登録しない無記名のものがあります。例えばSuicaなどの各種交通系電子マネーや、スーパーやコンビニで使える流通系電子マネーがあります。

無記名式の電子マネーも、タッチするだけで支払いができる利便性は変わりません。



【決済事業者の信頼性】に関する不安解消事例

不安の声

決済アプリに銀行口座を紐づけるのが不安

解消ポイント

信頼性の高い金融機関が提供



銀行が提供するコード決済サービス

銀行が、誰でもどこでも安心して使えるスマホ決済を提供

銀行以外の決済会社が次々と決済アプリをリリースしていますが、決済会社に対する漠然とした不安や、自分の口座を教えることに抵抗がある人もいます。

2018年、日本の三大メガバンクが共通の規格で決済サービスを提供することを合意しました。メガバンクだけでなく、銀行業界では、スマートフォンを使い自分の口座と紐づけて支払うことができる世界を実現しようとしています。

